

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年8月9日
【四半期会計期間】	第69期第1四半期（自 2019年4月1日 至 2019年6月30日）
【会社名】	大成温調株式会社
【英訳名】	TAISEI ONCHO CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 水谷 憲一
【本店の所在の場所】	東京都品川区大井一丁目47番1号 （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	東京都品川区大井一丁目24番5号
【電話番号】	(03)5742-7301(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 コーポレート本部長 阿南 哲生
【縦覧に供する場所】	大成温調株式会社横浜支店 （横浜市中区太田町六丁目84番地2） 大成温調株式会社大阪支店 （大阪府中央区北浜三丁目6番13号） 大成温調株式会社名古屋支店 （名古屋市中区錦三丁目6番34号） 大成温調株式会社関東支店 （さいたま市北区宮原町二丁目34番地3） 大成温調株式会社東関東支店 （千葉県中央区新田町1番1号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第68期 第1四半期 連結累計期間	第69期 第1四半期 連結累計期間	第68期
会計期間	自2018年4月1日 至2018年6月30日	自2019年4月1日 至2019年6月30日	自2018年4月1日 至2019年3月31日
売上高 (千円)	9,250,933	8,782,456	54,849,538
経常利益又は経常損失 () (千円)	223,191	330,534	2,170,668
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期 純損失 () (千円)	35,711	379,031	565,844
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	196,902	351,072	402,066
純資産額 (千円)	22,354,622	22,144,980	22,953,359
総資産額 (千円)	37,979,079	40,854,327	45,475,196
1株当たり当期純利益又は1株当 たり四半期純損失 () (円)	5.47	58.02	86.61
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	58.9	54.2	50.5

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、第68期第1四半期連結累計期間および第69期第1四半期連結累計期間については1株当たり四半期純損失であり、潜在株式が存在しないため、また、第68期については潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 財政状態および経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の向上や雇用改善などの好材料がある一方、海外環境の悪化が国内景気に及ぼす影響の広がりへの懸念などが景況感を下押しし、先行きについては慎重な見方が広がっております。

当社グループの建設業界におきましては、人手不足による供給制約や原材料のコスト増などマイナス要因はあるものの、首都圏を中心とした2020年の東京オリンピック・パラリンピックに関連する活発な建設需要を背景として、公共投資、民間設備ともに好調を維持し、経営環境は底堅く推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画“大成温調@Version UP計画”の基本コンセプトである「企業価値の増大」と「社会への還元」を達成すべく、顧客基盤やコスト競争力などの強化による「競争力の強化」、働き方改革の推進や、ICT/IoTへの積極投資などによる「生産性の向上」、認知度や企業ブランドの向上などによる「企業価値の向上」などの課題に取り組んでまいりました。

その結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の受注高は前年同四半期比48.2%増の193億12百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は前年同四半期比5.1%減の87億82百万円となり、営業損失は3億60百万円（前年同四半期は営業損失2億43百万円）、経常損失は3億30百万円（前年同四半期は経常損失2億23百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は、特別利益に関係会社整理損失引当金戻入額9百万円を計上し、また、法人税等57百万円を計上した結果、3億79百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失35百万円）となりました。

当社グループの売上高は、通常の営業形態として、連結会計年度末に完成する工事の割合が大きくなる傾向があり、一方、販売費及び一般管理費などの固定費は各四半期にほぼ均等に発生するため、利益が連結会計年度末に偏るといった季節的変動があります。

なお、TAISEI ONCHO INDIA PRIVATE LIMITED（インド）、およびONCHO PHILIPPINES, INC.（フィリピン）につきましては、すでに事業の休止を決定しており、閉鎖に向けた手続きを進めております。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

日本

売上高につきましては前年同四半期比3.9%減の70億97百万円となり、セグメント損失は3億53百万円（前年同四半期はセグメント損失2億55百万円）となりました。

米国

売上高につきましては前年同四半期比16.7%減の14億60百万円となり、セグメント利益は前年同四半期比15.0%減の76百万円となりました。

中国

売上高につきましては前年同四半期比96.1%増の2億24百万円となり、セグメント損失は70百万円（前年同四半期はセグメント損失60百万円）となりました。

インド

売上高につきましては当第1四半期連結累計期間および前年同四半期ともありません。
セグメント損失は8百万円（前年同四半期はセグメント損失12百万円）となりました。

フィリピン

売上高につきましては当第1四半期連結累計期間および前年同四半期ともありません。
セグメント損失は3百万円（前年同四半期はセグメント損失3百万円）となりました。

オーストラリア

売上高につきましては当第1四半期連結累計期間および前年同四半期ともありません。
セグメント損失は1百万円（前年同四半期はセグメント損失2百万円）となりました。

また、財政状態の分析については次のとおりであります。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産の残高は408億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億20百万円の減少となりました。その主な要因といたしましては、受取手形・完成工事未収入金等が55億12百万円減少したこと等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は187億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ38億12百万円の減少となりました。その主な要因といたしましては、支払手形・工事未払金等が45億1百万円減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は221億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億8百万円の減少となりました。その主な要因といたしましては、利益剰余金が10億16百万円減少したこと等によるものです。

(2) 経営方針・経営戦略等

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(3) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において新たに発生した事業上および財務上の対処すべき課題はございません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発費は7百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	27,500,000
計	27,500,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (2019年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2019年8月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,882,487	6,882,487	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	6,882,487	6,882,487	-	-

(注) 2019年4月9日開催の取締役会決議により、2019年4月26日付で自己株式の消却を実施いたしました。これにより、発行済株式数は300,000株減少しております。

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年4月26日 (注)	300,000	6,882,487	-	5,195,057	-	5,086,553

(注) 自己株式の消却による減少であります。

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】
【発行済株式】

2019年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 349,500	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,522,600	65,226	-
単元未満株式	普通株式 10,387	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	6,882,487	-	-
総株主の議決権	-	65,226	-

(注) 1. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式33株が含まれております。

2. 2019年4月9日開催の取締役会決議により、2019年4月26日付で自己株式の消却を実施いたしました。これにより、発行済株式総数は300,000株減少しております。

【自己株式等】

2019年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) 大成温調株式会社	東京都品川区大井 一丁目47番1号	349,500	-	349,500	5.08
計	-	349,500	-	349,500	5.08

(注) 2019年4月9日開催の取締役会決議により、2019年4月26日付で300,000株の自己株式を消却いたしました。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に準拠して作成し、「建設業法施行規則」（昭和24年建設省令第14号）に準じて記載しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）および第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	11,402,385	13,302,102
受取手形・完成工事未収入金等	17,782,247	12,269,596
電子記録債権	3,620,863	2,986,326
有価証券	451,158	384,993
未成工事支出金	816,702	1,320,086
商品	9,398	11,291
原材料	132,237	121,251
その他	1,795,984	1,037,077
貸倒引当金	207,095	204,171
流動資産合計	35,803,881	31,228,554
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	3,209,609	3,210,249
機械、運搬具及び工具器具備品	1,840,522	1,826,479
土地	1,935,054	1,935,921
その他	107,654	107,654
減価償却累計額	3,524,062	3,549,535
有形固定資産合計	3,568,778	3,530,769
無形固定資産		
無形固定資産	516,303	512,131
投資その他の資産		
投資有価証券	4,036,859	3,996,061
長期貸付金	8,866	9,889
繰延税金資産	539,388	537,891
その他	1,222,907	1,260,510
貸倒引当金	221,789	221,480
投資その他の資産合計	5,586,232	5,582,872
固定資産合計	9,671,315	9,625,773
資産合計	45,475,196	40,854,327

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	17,893,798	13,392,214
短期借入金	270,000	470,000
未払法人税等	265,702	68,990
未成工事受入金	1,969,312	2,691,763
賞与引当金	301,252	163,805
完成工事補償引当金	675,312	333,340
工事損失引当金	138,438	283,816
関係会社整理損失引当金	42,000	33,000
その他の引当金	7,347	10,377
その他	770,248	1,072,824
流動負債合計	22,333,413	18,520,132
固定負債		
退職給付に係る負債	18,388	30,601
その他の引当金	41,268	40,943
その他	128,766	117,669
固定負債合計	188,422	189,214
負債合計	22,521,836	18,709,347
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,195,057	5,195,057
資本剰余金	5,077,752	5,077,057
利益剰余金	12,151,379	11,135,135
自己株式	390,984	210,384
株主資本合計	22,033,204	21,196,865
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	885,836	892,846
為替換算調整勘定	13,972	33,704
退職給付に係る調整累計額	20,346	21,563
その他の包括利益累計額合計	920,155	948,114
純資産合計	22,953,359	22,144,980
負債純資産合計	45,475,196	40,854,327

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高		
完成工事高	8,989,322	8,535,018
その他の事業売上高	261,610	247,438
売上高合計	9,250,933	8,782,456
売上原価		
完成工事原価	8,196,165	7,798,844
その他の事業売上原価	183,179	190,451
売上原価合計	8,379,345	7,989,296
売上総利益		
完成工事総利益	793,156	736,173
その他の事業総利益	78,431	56,986
売上総利益合計	871,587	793,160
販売費及び一般管理費	1,115,340	1,153,758
営業損失()	243,752	360,597
営業外収益		
受取利息及び配当金	29,373	39,089
受取保険金	21,206	35,968
その他	16,771	35,068
営業外収益合計	67,351	110,126
営業外費用		
支払利息	2,002	432
有価証券売却損	-	5,426
持分法による投資損失	7,635	16,628
デリバティブ評価損	10,240	9,710
為替差損	21,142	16,096
工事補修費	1,604	31,700
その他	4,165	69
営業外費用合計	46,790	80,063
経常損失()	223,191	330,534
特別利益		
関係会社整理損失引当金戻入額	22,000	9,000
受取和解金	223,104	-
特別利益合計	245,104	9,000
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	21,912	321,534
法人税等	57,624	57,497
四半期純損失()	35,711	379,031
親会社株主に帰属する四半期純損失()	35,711	379,031

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純損失()	35,711	379,031
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66,907	7,009
為替換算調整勘定	147,343	8,000
退職給付に係る調整額	2,917	1,217
持分法適用会社に対する持分相当額	83,670	11,732
その他の包括利益合計	161,190	27,958
四半期包括利益	196,902	351,072
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	196,902	351,072

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形等

四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、手形交換日又は決済日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形等が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
受取手形	63,836千円	31,495千円
電子記録債権	11,210	100,716
支払手形	1,260,344	1,305,621

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)および当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

当社グループの売上高は、主たる事業である設備工事業において、契約により工事の完成引渡し第4四半期連結会計期間に集中しているため、第1四半期連結会計期間から第3四半期連結会計期間における完成工事高に比べ、第4四半期連結会計期間の完成工事高が著しく多くなるといった季節的変動があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
減価償却費	56,408千円	66,805千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月26日 定時株主総会	普通株式	300,524	46	2018年3月31日	2018年6月27日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年6月25日 定時株主総会	普通株式	457,306	70	2019年3月31日	2019年6月26日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	中国	インド	フィリピン	オーストラリア	合計
売上高							
外部顧客への売上高	7,382,205	1,754,355	114,372	-	-	-	9,250,933
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	7,382,205	1,754,355	114,372	-	-	-	9,250,933
セグメント利益又は損失()	255,214	90,243	60,623	12,584	3,196	2,369	243,745

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

損失	金額
報告セグメント計	243,745
セグメント間取引消去	6
四半期連結損益計算書の営業損失	243,752

当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米国	中国	インド	フィリピン	オーストラリア	合計
売上高							
外部顧客への売上高	7,097,539	1,460,665	224,251	-	-	-	8,782,456
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	7,097,539	1,460,665	224,251	-	-	-	8,782,456
セグメント利益又は損失()	353,037	76,666	70,117	8,988	3,424	1,723	360,625

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

損失	金額
報告セグメント計	360,625
セグメント間取引消去	27
四半期連結損益計算書の営業損失	360,597

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失および算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
1株当たり四半期純損失()	5円47銭	58円02銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純損失() (千円)	35,711	379,031
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期 純損失()(千円)	35,711	379,031
普通株式の期中平均株式数(千株)	6,533	6,532

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年8月8日

大成温調株式会社

取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 本間 洋一 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 石上 卓哉 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている大成温調株式会社の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、大成温調株式会社及び連結子会社の2019年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。